

北竜町議会 議会構成決まる

議長

ささき
佐々木 康宏

副議長

やまもと
山本 剛嗣

3月31日に改選後初の臨時議会が招集されました。

臨時議長(松永毅議員)による、仮議席の指定、議長の選挙を行い、佐々木康宏議員が議長に当選しました。

その後、佐々木議長により、副議長選挙、議席の指定、常任委員・議会運営委員の選任、各一部事務組合の議員選挙、監査委員の選任、広報特別委員会と北竜町議会災害対策特別委員会の設置、閉会中の所管事務調査についてを可決し閉会いたしました。

就任のご挨拶

議長 佐々木 康宏



輝く北竜は春を迎えています。この度議会議長に就任することとなりました。七名の議員各位共々よろしく御願います。また皆様のご意見・ご指導を賜りますようお願いします。主義主張に偏らない真の保守とは伝

統・歴史・慣習・社会組織を守りつつ、変革を求めていく考えです。議会は常にあることを保守する行政運営の合議体としての役割を果たしていきます。

「和解」は人間に新たな光を与えます。人のココロは私達が考えている程狭くはないし強いものでもありません。一つになつて同じ夢を叶えましょう。人が少なくとも国中に誇れるマチは創れます。

霜止んで苗出ず・・・良き出来秋と商売繁盛を願っています。

常任委員会及び 議会運営委員会 の構成

総務産業常任委員会

- 委員長 佐光 勉
副委員長 藤井 雅仁
委員 北島 勝美
委員 小松 正美
委員 小坂 一行
委員 松永 毅
委員 山本 剛嗣



佐光委員長

議会運営委員会

- 委員長 小松 正美
副委員長 北島 勝美
委員 佐光 勉
委員 山本 剛嗣



小松委員長

一部事務組合 議会議員

- 北空知学校給食組合議会議員
員・北空知圏学校給食組合議会議員
藤井 雅仁
北空知衛生施設組合議会議員
松永 毅
北空知衛生センター組合議会議員
北島 勝美
北空知広域水道企業団議会議員
山本 剛嗣
深川地区消防組合議会議員
佐光 勉
北空知葬斎組合議会議員
佐々木 康宏

中・北空知廃棄物処理広域連合議会議員
小松 正美

同意

監査委員の選任について
議会議員からの選任
小坂 一行



小坂監査委員

広報特別委員会の設置

- 広報特別委員会
委員長 小松 正美
副委員長 佐光 勉
委員 藤井 雅仁
委員 北島 勝美

北竜町議会災害 対策特別委員会の設置

北竜町議会災害対策特別委員会

- 委員長 松永 毅
副委員長 小松 正美
委員 北島 勝美



松永委員長

- 委員 藤井 雅仁
委員 佐光 勉
委員 小坂 一行
委員 山本 剛嗣
委員 佐々木 康宏

一般質問

3月11日に開会された第1回定例会では、3名の議員から3件の一般質問がありました。

山本議員

公営住宅の家賃について

山本議員
町内には民間アパート等はなく、借りるとなれば公営住宅しか無い。
家賃に関する資料（桜岡団地A棟1号）、入居者負担基準額の算定を見ると、入居者収入が、259,001円以

上の収入がある場合、家賃73,400円。また、収入超過家賃として数年後には90,800円とある。

もう少し家賃を低く抑えてはと思うが考えを伺いたい。

佐野町長

公営住宅の目的は、住宅に困窮している低所得者のために良質な住宅を供給することが目的。家賃の算定に当たっては、現行法で定められており、町独自で家賃設定を行うことは出来ない。

公営住宅法では、入居許可できるのは、収入月額158,000円以下の世帯であり、その金額を超え、一定条件を満たす世帯を裁量世帯として、許可している。入居希望者には、今後も充分内容説明を行ない、管理運営を行っていききたい。

山本議員

資料中の近傍同種の家賃とは何か。

大矢建設課長

近郊の民間アパートなどの

家賃である。

山本議員

近傍同種住宅建設費として金額が記載あるが、北竜町の公営住宅建設には、国からの補助金もでている、近郊の民間アパートの建設費を比較した時、安く建設できており、こういったものは家賃に反映されないのか。

大矢建設課長

関係がありません。

山本議員

裁量世帯の説明があつたが、現段階で、この金額を超えて住んでいる方はいないのか。



大矢建設課長

公営住宅の他に、特公賃住宅があり、所得の高い方は、こちらで対応している。

山本議員

今年度、30年を超える住宅を取り壊す予定だが、外見から利用可能ではないか。
また、民間賃貸住宅建設助成が予算案にある、住宅確保が目的なら、取り壊し公営住宅の再利用ではどうか。

佐野町長

基本的に建て替えの方向だが、内容を充分再精査し対応したい。町民への住宅需要に応じていきたい。

山本議員

公営住宅の最高月額家賃は、如何にも高い、という思いだ。

佐野町長

収入月額、税の課税標準額と同じように控除されるものもあり、理解願いたい



佐光議員

ひまわり応援団の創出と観光振興について

佐光議員

今まさに少子高齢化の中、いかに都市との交流人口を増やすか。我が町にはひまわりをベースとした観光が有り、更に町のホームページ等により「ふるさと納税」は、管内

でも飛躍的に伸びた事は高く評価したい。この宝、人々のつながりを大切にする為に「ひまわり応援団」になってもらう政策を考えるべきと思います。更にふるさと納税事務を含め、年間通しての観光

体制の確立を図る為にも専属の職員を置くべきと思います。が町長の所見を伺います。

佐野町長

ほとんどの方は、北竜町を知らない中で、インターネットを見てお礼の特産品にお得感と安全安心米であることにより本町を選んでいただいた。その後、食べて美味しいという価値が、更にリピーターが増えております。今後多くの方々とふるさと応援寄付金を通して、北竜町とつながるようになり、より寄付しやすいシステムづくりやお礼の特産品の内容充実を検討致します。また、再度ご寄附いただけるように「ひまわり応援団」を含め心と心につながるを大切に、北竜町をふるさとと思っただけのような取組を検討致します。そして交流人口の増大や、移住定住への波及に努めて参ります。なお、推進体制の強化につきましては今後の寄付者の推移の中で検討して参りますので、ご理解ください。



澤田議員

エーコープ撤退後の 商工振興について

澤田議員

エーコープ北竜店の撤退については、町民意向調査が実施され、何らかの形で店舗展開が強く求められていると認識する。しかし、現実的にどのような形が良いのかわからないで、27年度中に関係団体と具体的な議論をするというが、町としてどのように考えているのかも分からない。商工関係者の誰かが「店をやる」と意欲を表明してくれたら、町で補助事業で店舗を建てようと思っているのかなと思う。特別委員会で検討されているようだが、行政としてどのような形で関わるべきなのか、考えを伺う。



佐野町長

経済産業省の補助金をもらい、商工会が主体となり町内全戸を対象にアンケート調査を実施。結果がまとまり、3月17日に町民に報告する。このアンケートは、全町807世帯に町内会長の協力の下651世帯、80.7%と高い回収結果で、多くの町民の意見を反映させることができたと思う。報告会では町民から意見も出ると思われる、その意見も踏まえて進めて参りたい。また前段、議会、JA、商工会、町と各団体長、関係職員含めた打ち合わせの中でも、代替の施設は必要であるという確認と、補助金の取り扱いについても協議している。経営について、できれば既存の商工会の方が行うのが理想と話されている。

澤田議員

町民アンケートを鵜呑みにするのはどうか。今は宅配や外販もあり、70代でも車で行く人も居る。本当に困る人がどれだけ居るか。町民が店を利用しなければ意味がないので、どのような形で町民が店舗利用に関わってもらうかを考えなければならぬのと、単に商工会関係で何とかするという問題でなく、町の政策としてどうすべきかを示すべきではないか。

佐野町長

今言われたことも含めてアンケート調査もした、報告会でも意見を聞いて進めて行きたい。まだ若干時間が必要と考える。いずれにしても既存の商工会員が経営するのが望ましいが、店舗が新しくなれば撤退するのかわかるのか、コープさつぽろやアークスだとか、打診もありこれら全て検討して進めたい。

有馬産業課長

アンケートの結果について、651人の回答があり4

佐野町長

60人70.7%の方が、是非何らかの買い物施設を北竜町に残して欲しいと言う要望があり、町内に店舗施設を作ることが最良でないかという方向にあります。

澤田議員

町長としては、町民の意向を聞いた中で、町の政策として考えたいと理解してよいのか。

議員コラム

今年二月、任期満了に伴う北竜町議会議員選挙が実施され、二名の新人議員が加わり新たな議会体制が構築されました。三月三十一日の臨時議会で再度広報特別委員会が設置され、小松、佐光、藤井、北島の四議員が委員として選任され、私が委員長として今後四年間議会の活動内容等町民の皆様に関心がありますのでよろしくお願い申し上げます。

議会広報特別委員会

委員長 小松 正美

今年は大変雪が少なく例年から見ると農作業も一週間程早いように思われる。やはり仕事が順調に進むと嬉しいものだ。しかしながら全国的な米余り、低米価の流れはなかなか解決されない。そんな生産に対する不安もあるが、今年も消費者に求められる米づくりの為頑張りたい。